

平成 29 年 10 月 29 日
九州藝術学会会員各位

九州藝術学会
代表幹事 後小路 雅弘

謹啓 秋麗の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る 11 月 25 日(土)に、宮崎県立美術館において第 97 回九州藝術学会を開催いたします。また、翌 26 日には、西都原考古博物館、平和の塔、宮崎県立美術館などを見学する予定です。詳細は下記のとおりです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

また、『デ アルテ』34 号の論文、および「会員の本」コーナーの原稿を募集いたします。同封の投稿規定にしたがって、平成 30(2018)年 1 月 12 日(金)必着で、事務局宛にお送り下さい。

謹白

記

第 97 回 九州藝術学会

【日 程】平成 29 年 11 月 25 日(土)、26 日(日)

【会 場】宮崎県立美術館アートホール

〒880-0031 宮崎市船塚 3-210 (県総合文化公園内)

Tel. 0985-20-3792

【行程】

11 月 25 日(土) 研究発表

12:30～ 受付

12:45～12:50 開催挨拶

12:50～13:40 研究発表 1

『仁智要録』と『類箏治要』にみる箏譜の比較及び復曲研究

劉一葉 (九州大学大学院芸術工学府)

13:40～14:30 研究発表 2

「河鍋曉斎《山姥図》

—新たな山姥イメージの創出と第二回巴里府日本美術縦覧会—

日野綾子 (九州歴史資料館)

14:30～14:40 休憩

14:40～15:30 研究発表 3

「ピントリッキオによる「ボルジアの間」の肖像画とパトロンの記憶」

永井裕子 (日本学術振興会特別研究員 PD・九州大学大学院人文科学研究院)

15:30～16:20 研究発表 4

「《両親の家のキリスト》における風俗画的要素 —作品受容を中心として」

出口智佳子 (佐賀大学美術館)

16:20～16:30 休憩

16:30～17:00 「開かれた美術館をめざして ―宮崎県立美術館の活動紹介―」
木村幸久（宮崎県立美術館 学芸課長）

18:00～ 懇親会
※会場未定。参加費 5,000 円程度を予定。

11 月 26 日(日) エクスカーション

9:00 宮崎駅集合
↓
西都原考古博物館 [国際交流展「台湾鉄器文化の粋 十三行遺跡と人びと」]
↓
昼食 [綾町酒泉の杜にて各自]
↓
平和台公園 [「平和の塔」内部]
↓
宮崎県立美術館 [コレクション展、特別展「あそぶ浮世絵 にゃんとも猫だらけ」]
↓
15:00 宮崎駅
15:15 宮交シティ
15:30 宮崎空港

◇参加費：3000 円（昼食代は別途）

※参加費は当日現金にてお支払いいただきます。

◇26 日のエクスカーションは事前のお申込みが必要です。

申込方法：メール、郵送、Fax で九州藝術学研究室事務局までご連絡ください。

※お電話の対応ができない時間帯がございますので、できるだけメールや Fax にてお申し込みください。

申込締切：11 月 16 日(木) 必着

◇宿泊のお手続きは各自でお願いいたします。（宮崎駅近辺が便利です。）

【お申込み・ご連絡先】

九州藝術学会事務局(担当：長尾萌佳)

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1

九州大学人文科学府芸術学研究室内

Tel・Fax：092-642-2373

E-mail：the_kyushu_art_society@yahoo.co.jp